

東京のまちづくり バックナンバー 建設局ホームページにて掲載

建設局では、都民向け広報誌「東京のまちづくり」を隔月で発行し、最新の建設局事業紹介や主なイベント等のお知らせを発信しています。

「東京のまちづくり」バックナンバーは、Vol.66 2003年7/8月号より、建設局ホームページにて掲載しております。これまでの建設局の事業や東京のまちづくりの変遷をぜひご覧ください。

下記URLまたはQRコードより、建設局ホームページにアクセス可能です。

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/about/tokyotown/index.html>



東京都建設局 東京のまちづくり 検索



問い合わせ先 総務部総務課広報担当
TEL: 03-5320-5212

特別 特集

電柱をこれ以上 増やさない！

新設電柱の占用制限について

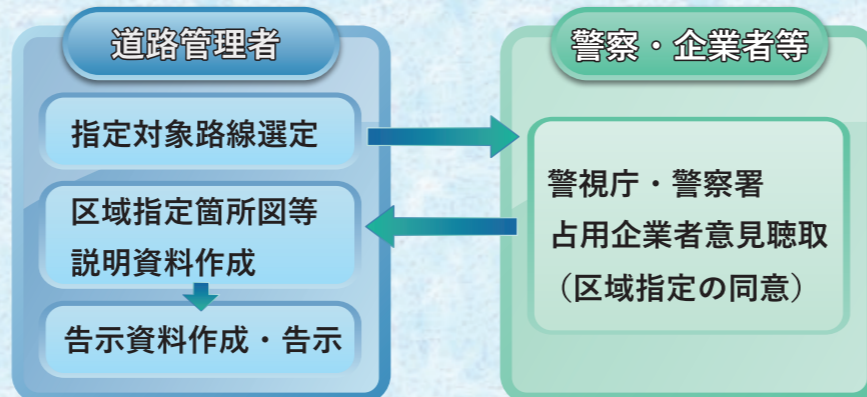
東京都の無電柱化

- 東京都は、都市防災機能の強化、安全で快適な歩行空間確保、良好な都市景観の創出に向け、無電柱化を強力に進めています。
- 無電柱化にあたっては、電線類を地中化する「電柱を減らす」取組だけでなく、「電柱をこれ以上増やさない」取組も重要です。
- 都は、平成29年に管理道路全線における電柱の新設を禁止するとともに、ノウハウ共有を通じて区市町村道における電柱新設禁止の取組を支援しています。

電柱を増やさないための取組

全国の電柱の本数は、年間7万本程度のペースで増え続けている状況にあります。東京都は、都内全域で電柱の新設を禁止する取組を推進しています。道路管理者は、災害が発生した場合における被害の拡大を防止するために、特に必要があると認める道路や幅員が著しく狭い道路等を区域指定することで、電柱による占用を禁止、制限することができます。

新設電柱設置の禁止に向けた事務の流れ(イメージ)



区域指定を実施した区市町村の事例

区域を指定することで、道路に新しく電柱を建てることができなくなります。

事例① 渋谷区



事例② 中野区



事例③ 日の出町



都道では管理道路全線で区域指定を実施しており、区市町村道では、上記3区町のほか、台東区及び清瀬市において、一部の路線で区域指定を実施しています。

水防災情報の発信を強化しています！

～水防災総合情報システムと東京都水防チャンネル～

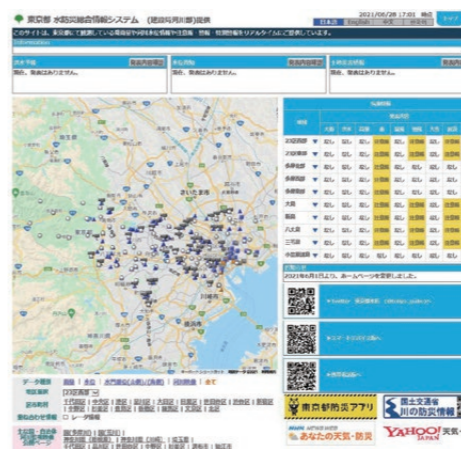


東京都では、大雨、洪水、高潮等による水害や土砂災害の危険から、都民の命と暮らしを守るため、住民の避難行動に繋がる降雨や河川水位、土砂災害に関する情報等を提供しています。

①水防災総合情報システム※1

都内の雨量情報、河川水位情報、河川監視カメラの映像※2をリアルタイムに発信しています。また、大雨により河川が溢れる恐れのあるときや土石流・がけ崩れの危険性が高まったときには、氾濫危険情報(洪水)や土砂災害警戒情報を発表します。なお、PC版では、国土交通省や他自治体の水防災情報サイトへの直接リンクも掲載しております。

水防災総合情報システムHP トップ画面(PC版)



※1: アクセス方法

URL:<https://www.kasen-suibo.metro.tokyo.lg.jp/im/uryosui/tsim0102g.html>

※2: 5分更新の静止画ですが、24時間前まで遡ることができます。

河川監視カメラ映像例(妙正寺川 鷺盛橋)



水防災総合情報システムHP



②東京都水防チャンネル※3

都内の河川では、集中豪雨などにより急激に水位が上昇することが多いため、6月1日よりYouTubeを活用したライブ動画配信を開始し、河川の状況をリアルタイムで確認できるようになりました。



※3: アクセス方法

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCaydVlWwThLMbfKLEQSY2UQ>

YouTube 東京都水防チャンネル



台風や集中豪雨などの大雨時に川に近づくことは大変危険です。このため、パソコンやスマートフォン等により水防災総合情報システムや東京都水防チャンネルをご活用いただき、速やかな避難行動をお願いします。

建設局クイズ 連続立体交差事業によって除却した踏切はいくつある？

問題 Q

東京都では踏切による交通渋滞を解消するために連続立体交差事業を進めていますが、これまでに連続立体交差事業で除却した都内の踏切はいくつでしょうか。

- ①532箇所
- ②395箇所
- ③245箇所



京成押上線(押上駅～八広駅間)連続立体交差事業 事業前後(明治通り)

正解 A

正解は②の395箇所箇所。これまでに、39の事業で395箇所の踏切を除却してきました。連続立体交差事業は単に交通問題の解消を図るだけでなく、一体的で総合的なまちづくりの推進にも寄与する事業であり、東京の都市再生を進める観点から積極的に取り組んでいます。ちなみに①の532箇所は全国の「開かずの踏切」※の数、③の245箇所は都内の「開かずの踏切」の数です。

※ピーク時間の遮断時間が40[分/時]以上の踏切 <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyoku/road/kensetsu/gaiyo/00.html>



東京都建設局 ツイッター・フェイスブックもご覧ください

- 発行/令和3年9月 ●編集発行者/東京都建設局総務部総務課広報担当 新宿区西新宿 2-8-1 TEL(03)5320-5212
- 登録番号(3)29 ●印刷/光栄印刷(株) ●制作協力/パール商事(株)

ホームページ <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/>
建設局 ツイッター @tocho_kensetsu
フェイスブック <https://www.facebook.com/kensetsu.metro.tokyo.jp>



リサイクル適性 100%の再生紙を使用しています